

「丸亀ふくしま♡みんな de わが家」企画書

2020年12月

丸亀ふくしま♡みんな de わが家実行委員会
代表 高津義幸（福島町西部自治会会長）

○企画の背景

JR丸亀駅の北側に位置する住民約400人の福島町では、商業機能が衰退していく中、地域を支える若年者の流出もあり、一人暮らしの高齢者約50人を含め高齢者世帯も増加しており、また、造船業等への外国人労働者の移住が進み、現在約60人の外国人住民が暮らしています。このため地域のコミュニティ活動は低調で、空き家も多くなり、住民同士のつながりも弱く、地域力はますます低下してきています。

また外国にルーツがある住民の多くは、限られた人間関係のもと、言葉の問題から必要な行政情報へのアクセスも難しく、日本人とつながる機会も少ない状況にあります。近年、自然災害も多発しており、防災避難対応なども早急に求められています。

このような中において、日本人住民と外国にルーツがある住民らが同じ地域に住む「ご近所さん」としてお互いが理解し合い協力しながら地域活動を支えていく環境をつくることが重要です。それは、日本で長く暮らすことになる次代を担う外国にルーツがある子どもたちが、日本の子どもたちとともに将来への希望をもって暮らしていくためにも不可欠な条件です。そんな思いで2015年から県内の日本語ボランティアの有志により「香川まるがめ子どもひろば(通称ひろば)」を立ち上げ、子どもたちの学習支援を行っています。

今回のプロジェクトでは、丸亀市福島町の古民家で地域住民と外国人住民らが出会い、つながり、お互いのことを“わがごと”として考えることでお互いにこの場所が“わが家”となる、そんなひろばづくりを目指し、自治会の住民や日本語ボランティア、国際協力・交流など外国人支援者、大学研究者、行政書士、子育て・介護関係者らが発起人となり、有志の支援者たちが協力して以下の企画を実施します。

またプロジェクトは、コロナ禍の中、感染予防対策を徹底したうえで、国連サミットでの持続可能な開発目標である「SDGs」としても取り組みます。※SDGsは丸亀市策定の「第2期丸亀市未来を築く総合戦略」でも取り組むべき課題として位置づけられています。

○企画内容と期待される効果

- ・自治会主催の健康づくりや生涯学習など各種の会合の開催、地域の歴史・文化の継承
- ・外国にルーツがある住民の自助グループと地域住民相互の交流のためのイベント、コミュニティレストラン・カフェの常設
- ・外国にルーツがある子どもたちとその親とのコミュニケーション向上のための日本語教室
- ・外国にルーツがある子どもたちへの学校の宿題や教科学習支援のための寺子屋活動
- ・地域住民の多文化理解を深めるための外国語・日本文化教室や外国料理の提供、地域産直市の開設、外国の物産の販売
- ・外国にルーツがある住民などへの子育てなどの生活相談、地域活動など生活に密着した講座、その他多様な取り組み

○関係する団体などのメリット

- ・地域自治会・コミュニティ
地域のつながりづくり、住民の健康づくり、地域経済の活性化などによる地域力の維持・向上、多文化共生
- ・丸亀市
福祉や教育等にかかる行政コストの低減、地域住民の外国語習得熱の高まりによる姉妹都市との交流や経済活動の促進
- ・外国にルーツがある住民
多文化共生による地域での交流を通して日常の生活や職場、進学、進路などの悩みや課題などを解決したり、または解決策を見つけ出しやすくなることで、地域の日本人住民とともに安心して暮らすとともに、子どもたちのキャリアアップにも寄与
- ・教育機関、企業などその他団体
SDGsの達成を通じたESD(持続可能な開発のための教育)の推進、地域の企業・機関との連携、CSR・CSVの促進、多文化共生



当プロジェクトに賛同、参加、支援
をいただける方は、
minnadewagaya@mm.pikara.ne.jp
0877-89-5582
までご連絡ください



*このプロジェクトは三菱財団×中央共同募金会 外国にルーツがある人々への支援活動応援助成を受けて実施します